

日の出山公園の 完成に思う

市長 明智忠直



東日本大震災から7年余り、復興計画に基づいて着実に事業を進めてまいりました。125あった復興事業も現在では津波避難道路、築山の建設、河川開口部の防護施設の整備を残すのみになったところであり、被災地のにぎわい、復活にはもう少し時間がかかると思いますが、このような中、待望の築山が完成しました。この施設の名称は日の出山公園と決定し、5月22日に矢指小、日の出保育所の児童を含め、関係者の出席をいただき竣工式を行いました。7月からは利用ができるようになります。

できるようにし、高齢者の皆さんの新たな交流拠点になってくれるものと期待をしています。

この地区には高い建築物がないことから、震災直後からぜひ築山を建設したいと思っていたところであり、津波から命を守る「津波でんこ」の言葉通り、一人一人がしっかりと対応することが基本であります。行政としては、施設を複合的に設置することで、住民の安全・安心を確保していきたいと思えます。

築山の頂上部分は500人が避難できる広さがあります。ソーラーパネルでの蓄電により夜間の利用も可能で、防災倉庫や休憩所が整備されるほか、緊急時には簡易トイレの設置ができるなど、さまざまな工夫で避難時の万全を図りました。普段は、南側広場でグラウンドゴルフなどが

どれだけ風化させないような取り組みをしても、体感や記憶の継承は50年、100年のうちには薄らいでいくものだと思います。この日の出山公園は、永久に形が残るものとして人々の心にとどめることができ、しっかりと後世につないでいけるはず。本市にとっても新たな名所の一つになると思っています。関係してくださった皆さまに、心から御礼を申し上げたいと思います。



市図書館だより

開館時間／火～金曜日…午前9時～午後6時

土・日曜日…午前9時～午後5時

今月の休館日／21日(木)、毎週月曜日

岡市図書館 ☎62-2560 <http://www.library-asahi-chiba.jp/>

今月のおすすめ

「さざなみのよる」



木皿泉 著
(河出書房新社)

富士山に見える小さな町で、一人の女性が亡くなった。彼女と関わった人々にもたらされた、優しい変化を描く感動の物語です。

「食堂メッシタ」



山口恵以子 著
(角川春樹事務所)

一人で営む超人気レストラン「食堂メッシタ」の閉店を決意した満希は、常連客だった笹子からインタビューを受けることに。

新着図書

- | | |
|----------------------|--------------------|
| ● 老いる勇氣 (岸見一郎) | ● じっと手を見る (窪美澄) |
| ● 元号 (所功) | ● 房総グランホテル (越谷オサム) |
| ● 幕末史かく流れゆく (中村彰彦) | ● 罪人が祈るとき (小林由香) |
| ● 英雄たちの食卓 (遠藤雅司) | ● 青空と逃げる (辻村深月) |
| ● 知られざる地下街 (廣井悠) | ● 大人になったら、 (畑野智美) |
| ● 義足でダンス(エイミー・パーディ) | ● 魔力の胎動 (東野圭吾) |
| ● わたし、定時で帰ります。(朱野帰子) | ● 鎌ヶ崎心中 (平谷美樹) |
| ● 怪盗不思議紳士 (我孫子武丸) | ● 海を抱いて月に眠る (深沢潮) |
| ● 私小説 (市川拓司) | ● 湖畔の愛 (町田康) |
| ● わたしの忘れ物 (乾ルカ) | ● 風は西から (村山由佳) |
| ● 庭 (小山田浩子) | ● ふたりみち (山本幸久) |
| ● 隣のずこずこ (柿村将彦) | ● 地下にうごめく星 (渡辺優) |
| ● 小萩のかんざし (北村薫) | ● 大根の底から！ (林望) |
| | ● ウマシ (伊藤比呂美) |

おはなしの時間

幼児向きの絵本の読み聞かせ

日時／6月14日(木)、28日(木)

午後4時30分～5時

場所／市民会館